



2、3年生が遠足に行ってきました。



10月8日(木)、2、3年生が遠足に出かけました。あいにく雨になりましたが、雨の時にしかできない体験もあり、1年生同様、楽しい1日を過ごすことができましたようです。

【2年生】国営讃岐まんのう公園



【3年生】ハローズ大野原店⇒瀬戸大橋記念公園



帰校し、バスから降りてくる児童の満足したような顔を見ると、遠足など、非日常の楽しい体験は、日常の学校生活にメリハリをつけるためにも必要なことだと実感しています。新型コロナウイルスに細心の注意を払いながら、一步一步確実に前進していけたらと思います。保護者の皆さまには朝早くからのお弁当作りなど、ご協力いただきありがとうございました。

4年生が洋上学習で伊吹島を訪問しました。



煮干しいわし(イリコ)で有名な伊吹島には、“伊吹弁”と呼ばれる方言があり、国語学者の金田一春彦氏によると、平安時代に京都で使われていた言葉のアクセントをのこしているとのこと。なんとも不思議な島で、現在の人口は、校長が子どもの頃に比べて4分の1程度(約450人)です。

その伊吹島に10月14日(水)、4年生が訪れました。ガイドの篠原さんを先頭に、島の真浦港から旧小学校へ、さらに昨年度の瀬戸内国際芸術祭の作品をめぐり、民俗資料館へ。その後は班ごとに分かれてオリエンテーリングを楽しみました。洋上学習がコロナ禍でこの時期に延期されたため、残念ながら実際にカタクチイワシがイリコに加工されていく様子を見ることはできませんでしたが、子どもたちにとっては、晴天の中で伊吹島の自然や歴史を肌で感じた貴重な1日になりました。



柞田小学校の宝もの

1年生の保護者の方からうれしい手紙が届いたので紹介します。

「登校時、いつもの所から行くのか、運動場の方から行くのか、迷って不安になっていたら、6年生の女の子が通りかかり、すぐに話しかけてくれて連れて行ってくれました。6年生は少しがんで、我が子に話しかけながら行ってくれました。とても安心できたと思います。すばらしい上級生ですね! あたたかい気持ちになりました。ありがとうございました。」

男女を問わず、こういったやさしい行動が学校いっばいに広がってほしいと思いました。

